



A地点における現場での調査を終え、玄室内部に堆積していた土の内容物を分析しました。

①玄室内に堆積した土



②水で土をやわらかくします



③土をふるいににかけて石などを除きます

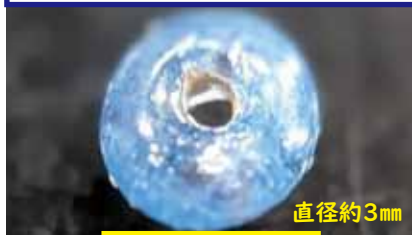


ポイント!

- ・玄室床面に堆積した5cmほどの土を取り上げました。
- ・網目の粗さを変えて何度かふるいにかけて水で洗うと、堆積した土の中には⑥の写真のようなガラス玉が含まれていました。



⑥ 網目の細かいふるいで③・④を繰り返すとガラス玉が見つかりました (⑦写真G)



直径約3mm

⑤ 何度か③・④を行います



④ 水をかけながら大きい石や土を除きます



⑦ 令和8年度A地点
の調査で出土した
遺物一覧

A地点の発掘調査成果まとめ



- ・玄室の広さは横幅、奥行ともに3mを超えていました。
- ・左の写真のDの須恵器の中には、火葬されたEの遺物（人骨）が納められていました。
- ・人骨が入った写真Dの須恵器の上にはCの土師器がふたをするように置いてありました。
- ・玄室から前庭部にかけて、標高が下がるように傾斜がつけられていました。
- ・玄室内や羨道の一部には排水溝が設けられ、羨道には閉塞石が敷き詰められていました。
- ・前庭部と羨門の境にたてかけるようにして、Fの刀が置いてありました。

A: 須恵器の甕 B: 須恵器の壺
C: 土師器の坏 D: 須恵器の壺
E: 火葬人骨 F: 刀 G: ガラス玉

☆A～Fの遺物は、令和8年8月25日（火）～10月18日（日）までふるさと展示室でご覧いただけます!